I-O DATA

DDVOX

取扱説明書

113186-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当します。したがって、国外に持ち出す場合には、必ず日本国政府の輸出許可申請など必要な手続きをお取りください。
5) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
6) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
7) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
8) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用又はこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
9) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
10) お客様は、本製品を一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
11) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
12) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- Apple,iMac,iBook,Mac,PowerMacintosh,PowerBookは、米国およびその他の国で登録された米国Apple Computer,Inc.の登録商標または商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

本書の見方

接続前の準備を行います。必ずお読みください。
・・・・・・・・第１章

↓

本製品のドライバをインストールします。
・・・・・・・・第２章

↓

本製品の接続の一例を紹介します。
・・・・・・・・第３章

↓

添付ソフト「Sound it!」について説明します。
・・・・・・・・第４章

本書での呼び方

呼び方	意　味
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional Operating Systemおよび Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System
Windows	Windows XP、Windows 2000、Windows Me、Windows 98の総称

もくじ

はじめに・・・・・・・・・・・・ i
もくじ・・・・・・・・・・・・・ ii
安全にお使いいただくために・・ iv
本製品の特徴・・・・・・・・・・ viii

1 ご使用になる前に

必ずお読みください

箱を開けたら ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
動作環境について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
注意していただきたいこと ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

2 インストールする

Windows XP にインストール ・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
Windows 2000 にインストール ・・・・・・・・・・・・・・・ 12
Windows Me にインストール ・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
Windows 98 にインストール ・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
Macintosh にインストール・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

3 使い方いろいろ

CD-ROM ドライブの確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
MD レコーダーに録音する（デジタル録音） ・・・・・・・・ 27
パソコンに録音する（デジタル録音） ・・・・・・・・・・・ 28
添付ソフトウェアについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

4 「Sound it!」を使ってみる

「Sound it!」について ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
Windows 版「Sound it!」を使ってみる ・・・・・・・・・・ 33
Mac OS 版「Sound it!」を使ってみる・・・・・・・・・・・ 45

5 付録

困ったときには ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56
仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 65
用語解説 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66

お問い合わせ ・・・・・・・・・・・・・・・ 67
修理について ・・・・・・・・・・・・・・・ 68
サービス品に関するお問い合わせ ・・・・・ 70

安全にお使いいただくために

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告および注意事項

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味



この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「発火注意」を表す絵表示



この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示



この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告


厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。


分解禁止

本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。

火災や感電、やけど、故障の原因となります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。


使用中止

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。


発火注意

本製品の取り扱いは、必ず取扱説明書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などは行わないでください。火災や故障の原因となります。


水濡れ禁止

本製品を濡らしたり、水気の多い場所で使用しないでください。

お風呂場、雨天・降雪中、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。

⚠注意



本製品を使用中に誤った操作をしてデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。

故障に備えて定期的にバックアップを行ってください。



本製品は以下のような場所（環境）で保管・使用しないでください。

故障の原因となることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温湿度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●本製品に通風孔がある場合は、その通風孔をふさぐような場所での使用（保管は通風孔をふさぐようにしてください。）
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所
- ●保温性・保湿性の高い（じゅうたん・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）場所での使用（保管は構いません。）



本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●そばで飲食・喫煙などをしない
- ●本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない



厳守

本製品のコネクタ部分や部品面には直接手を触れないでください。

静電気が流れ、部品が破壊されるおそれがあります。また、静電気は衣服や人体からも発生するため、本製品の取り付け・取り外しは、スチールキャビネットなどの金属製のものに触れて、静電気を逃がした後で行ってください。

本製品の特徴

■高音質デジタル録音＆再生を実現

光デジタル入出力端子を搭載し、パソコンのデジタルオーディオソースをMDレコーダーへ出力しデジタル録音したり、外部オーディオ機器からのデジタル音声の取り込みも、高音質に行うことができます。
また、プロフェッショナルユースの使用にも耐えうる同軸デジタル入出力端子も搭載しております。

■光デジタルケーブルを標準添付

本製品には1.0mの光デジタルケーブルを標準添付しております。
さらにMD、携帯電話等のポータブル機器に搭載されている「光ミニプラグ」と据え置き型機器のための「光角型プラグ」の両方に対応する光端子変換プラグ(角型→丸型)も同梱しておりますので、オーディオ機器との接続も買った瞬間から可能です。

■添付の Sound it!で MP3 対応オーディオの編集・加工も楽々

本製品で録音したデータは、添付のMP3対応サウンド編集ソフト“Sound it!”で編集・加工することが可能です。
録音したデータからオーディオCDを作成したり、録音データをMP3ファイルに変換してMP3プレイヤーで再生したり、Sound it!で楽しみ方がさらに拡がります。

■簡単セットアップ

USBバスパワー接続なので、ACアダプタ不要です。
また専用ドライバのインストールの必要もなく、簡単にセットアップが完了します。

1 ご使用になる前に

この章では、本製品をご使用になる上で必要となる事項を説明しますので、最初に必ずお読みください。



箱を開けたら **2ページ**

箱の中に入っているものを確認してください。



各部の名称 **3ページ**

本製品の各部の名称を説明します。



動作環境について **4ページ**

お手元の環境で、本製品が動作可能かどうか確認してください。



注意していただきたいこと **7ページ**

接続時や使用時に、してはいけないこと等を説明しています。
必ずお読みになり、快適にご使用ください。

箱を開けたら

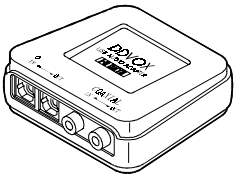
ご使用の前に以下のものがそろっていることをご確認ください。

□にチェックをつけながら、ご確認ください。

万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。

箱・梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。

□ 本製品（1台）

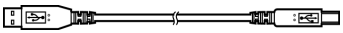


□ DDVOX/DAVOXソフトウェア CD-ROM（1枚）

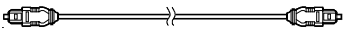


※以下のソフトウェアが入っています。
- Sound it! 3.0 LE for Windows
- Sound it! 3.0 for Macintosh

□ USBケーブル（1本　1m）



□ 光デジタルケーブル（1本　1m）



□ 光端子変換プラグ［角型→丸型］（1個）



□ ハードウェア保証書（1枚）

□ インターネット社 ソフトウェア使用許諾書（1枚）

□ Sound it！ユーザー登録カード（1枚）

「Sound it!」インストール時に本カードに記載の「シリアルNo」と「CDキー」を入力します。なくさないようご注意ください。

☑ 本書（1冊）

参考

ユーザー登録は済ませましたか？

ご登録いただきました情報は、今後の製品創りに生かしてまいります。
また、弊社よりお客様へ連絡を差し上げる際にも利用させていただきます。
ぜひご登録ください。
（e-mailアドレスを登録したご希望の方へは、新製品・サポート情報満載の e-mail I・O NewsLetterを定期的にお届けします。）

登録アドレスはこちらから

http://www.iodata.jp/regist/

各部の名称

本製品の各部の名称は、以下のようになっています。



USB（USBコネクタ）
添付のUSBケーブルでパソコンのUSBポートと接続します。

動作ランプ
USBコネクタをパソコンに接続すると、緑色に点灯します。

OPTICAL IN
（光デジタル入力端子）
光デジタルケーブルを接続します。

OPTICAL OUT
（光デジタル出力端子）
光デジタルケーブルを接続します。

COAXIAL IN
（同軸デジタル入力端子）
同軸デジタルケーブルを接続します。

COAXIAL OUT
（同軸デジタル出力端子）
同軸デジタルケーブルを接続します。

注意

出荷時は、各端子にキャップが付いています。使用する際には、キャップを取り外してください。
また、使用しない場合は、必ずキャップでふたをしてください。（キャップは紛失しないようご注意ください。）

動作環境について

本製品は以下の環境で動作します。

■Windows■

対応機種	USB インターフェイス搭載の以下の機種 ・NEC PC98-NX シリーズ ・DOS/V マシン※1
CPU※2	MMX Pentium 166MHz 以上
メモリ	・Windows XP/2000 の場合 → 64M バイト以上 ・Windows Me/98 SE の場合 → 32M バイト以上
対応 OS （日本語版）	Windows XP Windows 2000 Windows Me Windows 98 Second Edition
USB コネクタ※3	本製品接続時に1つ必要（タイプ A）
CD-ROM ドライブ	添付ソフトウェアのインストール時に必要

※1 弊社では、OADG 加盟メーカーの DOS/V マシンで動作確認を行っています。
※2 Crusoe[クルーソー] CPU には対応していません。
※3 USB ハブでご利用になる場合は、セルフパワーUSB ハブでご使用ください。
バスパワーUSB ハブでは使用できません。

■Macintosh■

対応機種	PowerPC G3以上で、USBインターフェイス標準搭載の以下の機種 ・PowerMac ・iMac ・PowerBook ・iBook
対応 OS （日本語版）	Mac OS 9.0.4/9.1/9.2.2/10.1.5/10.2
USB コネクタ※4	本製品接続時に1つ必要（タイプ A）
CD-ROM ドライブ	添付ソフトウェアのインストール時に必要

※4 USB ハブでご利用になる場合は、セルフパワーUSB ハブでご使用ください。
バスパワーUSB ハブでは使用できません。

添付ソフトの動作環境

＜*Sound it! 3.0 LE for Windows*＞

対応機種	Intel Pentium 166MHz 以上(MMX Pentium 推奨)を搭載した機種
対応 OS (日本語版)	Windows XP、Windows 2000、Windows Me、 Windows 98(Second Edition 含む)、Windows 95(OSR2)※、 Windows NT 4.0(SP3 以降)※ *※WMA ファイルは、Windows 95/NT 4.0 では対応しておりません。*
メモリ	32M バイト以上 (64M バイト以上推奨)
ハードディスク	インストール時の空き容量: 最低 10M バイト以上
ディスプレイ	800×600 ドット以上の画面解像度 (推奨 1024×768 以上)
色数	16 ビット(High Color)
MIDI to Wave 変換機能	MIDI ソングをウェーブに変換するには、ご使用のパソコンに Roland VSC 3.2 がインストールされている必要があります。 *※DDVOX には Roland VSC 3.2 は添付しておりません。*

注意

・上記記載の動作環境は、「Sound it! 3.0 LE for Windows」単体での条件です。
・「Sound it！」は上記記載の動作環境を満足するすべてのパソコン上での動作を保証するものではありません。
ご使用のパソコン、周辺機器、インストール済みのソフトウェアの設定、またはそれらの固有の仕様などにより、必要な動作環境は変化する場合があります。

＜*Sound it! 3.0 for Macintosh*＞

対応 OS （日本語版）	Mac OS 8.6～9.x Mac OS X（10.1 以降） *注）CD 作成（ライティング）は、Mac OS X（10.2 以降）対応*
CPU	Power Macintosh G3 以上
メモリ	32M バイト以上 （64M バイト以上推奨）
ハードディスク	インストール時の空き容量： 最低 10M バイト以上
ディスプレイ	800×600 ドット以上の画面解像度 （推奨 1024×768 以上）
CD-R/RW ドライブ	CD リッピング（CD オーディオの読み込み）には、アップル純正内蔵ドライブ推奨。 CD ライティング（CD 作成）には、アップル純正 CD-R/RW ならびに各種 CD-R/RW が必要。 *※対応ドライブは、インターネット社ホームページでご確認ください。* *（[ヘルプ]メニューの[サポートドライブ一覧]から接続できます。）*
MIDI to Wave 変換機能（MIDI データの読み込み）	MIDI ソングをウェーブに変換するには、ご使用のパソコンに Roland VSC 3.0 がインストールされている必要があります。 *※DDVOX には Roland VSC 3.0 は添付しておりません。* *※Mac OS X ではこの機能はご使用になれません。*

注意

・上記記載の動作環境は、「Sound it! 3.0 for Macintosh」単体での条件です。
・「Sound it！」は上記記載の動作環境を満足するすべてのパソコン上での動作を保証するものではありません。
ご使用のパソコン、周辺機器、インストール済みのソフトウェアの設定、またはそれらの固有の仕様などにより、必要な動作環境は変化する場合があります。

注意

Mac OS 10.2 をお使いの場合
添付の「Sound it!」をインストール後、㈱インターネット社のホームページ
http://www.ssw.co.jp/
より、最新アップデートプログラムをダウンロードしてアップデートを行ってください。

注意していただきたいこと

●本製品を使用しているときは、パソコン内蔵のサウンド機器からは音声は出力されません。

●本製品では、DVDの音声を録音することはできません。

●本製品を使用しない時は、必ず付属のキャップで光デジタル入出力端子にふたをしてください。

端子内部にゴミが入ると正しく音声が入出力されない場合があります。

●他のオーディオデバイス（サウンドカード等）との併用はできません。

すでにインストールされているサウンドカードや、マザーボード内蔵のオーディオ機能などは自動的に無効になります。既存のサウンドカードを取り外したり、ジャンパやBIOSによってハードウェア的に無効にする必要はありません。

ただし、使用するオーディオデバイスを選択できる機能を持ったアプリケーションでは、併用が可能な場合もあります。

●音楽CDの再生は、「デジタル音声抽出」に対応したCD-ROMドライブでのみ可能です。

お使いのCD-ROMドライブが「デジタル音声抽出」に対応しているかどうかは
26ページ【CD-ROMドライブの確認】を参照して確認してください。

●本製品そのものからは音は出力されません。

音声は本製品に接続されたオーディオ機器を通じて出力されます。

MDレコーダー等の録音機器と接続する場合には、録音状態または録音待機状態にしておく必要があります。

AVアンプ等では入力端子に接続するだけで、音声の出力が可能です。

●MP3データはファイルのままMDには転送されません。

「MP3ファイルをMDに録音する」とは、MP3の再生音がMDにデジタル録音されることを意味します。

MP3ファイルなどの音声ファイルが本製品を介してMDに転送（コピー）されるわけではありません。

注意していただきたいこと

●*著作権保護された音声はデジタル録音することができません。*

SCMS(Serial Copy Management System)技術で保護された音声をデジタル録音することはできません。

SCMSとは、DATレコーダーやMDレコーダーなど民生用デジタル・オーディオ機器において、デジタル接続による二世代以降の録音を禁止し、製作者の著作権を保護する機能のことをいいます。

この機能を持つデジタル・レコーダーにデジタル接続で録音した場合、デジタル・オーディオ信号と一緒に、SCMSのための符号も記録されます。この符号が記録されているデジタル・オーディオ信号からは、本製品では再びデジタル接続で録音することはできません。

●*バスパワーUSBハブでは使用できません。セルフパワーUSBハブで使用できます。*

●*Mac OS 10.1.5での録音はサンプリングレート44.1kHz、48kHzのみ対応です。*

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しいお取り扱いをして下さい。

2 インストールする

この章では、インストールについて説明します。インストール作業はご使用のOSにより異なります。ご使用のOSのページを参照してインストールしてください。



Windows XPにインストール　10ページ

お使いのOSがWindows XPの場合は、このページをお読みください。



Windows 2000にインストール　12ページ

お使いのOSがWindows 2000の場合は、このページをお読みください。



Windows Meにインストール　14ページ

お使いのOSがWindows Meの場合は、このページをお読みください。



Windows 98にインストール　16ページ

お使いのOSがWindows 98の場合は、このページをお読みください。



Macintoshにインストール　22ページ

お使いのパソコンがMacintoshの場合は、このページをお読みください。

Windows XPにインストール

1 Windows XPを起動します。

コンピュータの管理者のアカウントでログオンしてください。

2 パソコンのUSBポートと本製品のUSBコネクタを接続します。

Windows XPが完全に起動した状態で接続します。

注意

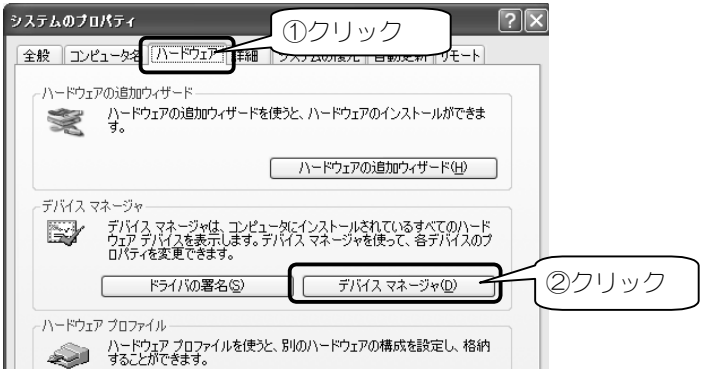
・パソコンの USB ポートの位置は、パソコンの取扱説明書を参照してください。
・USB コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。

この後 自動的にインストールされ、インストールは終了です。
引き続き、本製品が正しくインストールされたかどうか確認します。

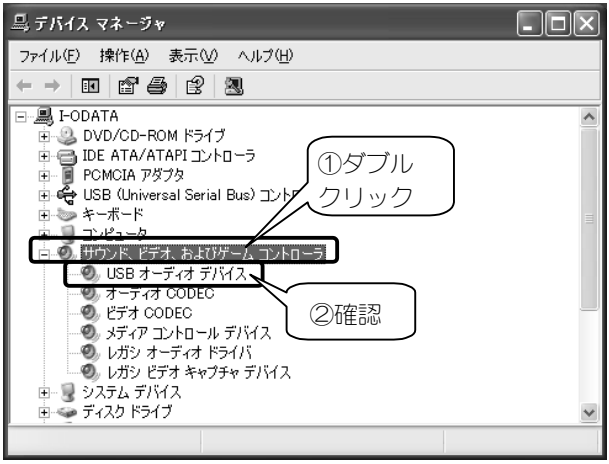
インストール終了後の確認

1 [スタート]→[マイコンピュータ](右クリック)→[プロパティ]をクリックします。

2 [ハードウェア]タブをクリックして、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。



3 [サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ]をダブルクリックし、[USBオーディオデバイス]が表示されることを確認します。



これでインストールが正常に行われたことが確認できました。

Windows 2000にインストール

1 Windows 2000を起動します。

Administrator権限でログオンしてください。

2 パソコンのUSBポートと本製品のUSBコネクタを接続します。

Windows 2000が完全に起動した状態で接続します。

注意

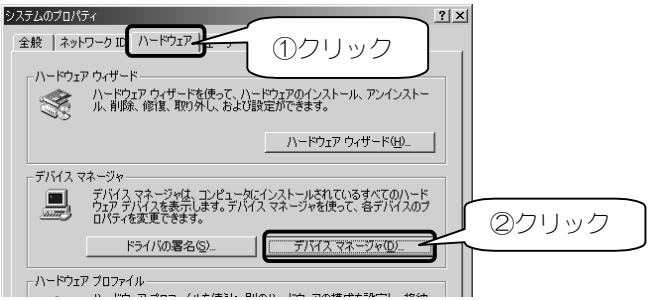
・パソコンの USB ポートの位置は、パソコンの取扱説明書を参照してください。
・USB コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。

この後 自動的にインストールされ、インストールは終了です。
引き続き、本製品が正しくインストールされたかどうか確認します。

インストール終了後の確認

1 [マイコンピュータ]アイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックします。

2 [ハードウェア]タブをクリックして、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。



3 [サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ]をダブルクリックし、[USBオーディオデバイス]が表示されることを確認します。



これでインストールが正常に行われたことが確認できました。

Windows Meにインストール

1 Windows Meを起動します。

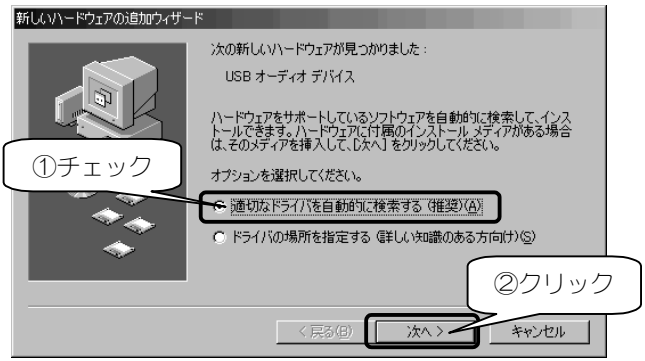
2 パソコンのUSBポートと本製品のUSBコネクタを接続します。

Windows Meが完全に起動した状態で接続します。

注意

・パソコンの USB ポートの位置は、パソコンの取扱説明書を参照してください。
・USB コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。

3 しばらくすると以下の画面が表示されますので、[適切なドライバを自動的に・・・]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



4 [完了]ボタンをクリックします。

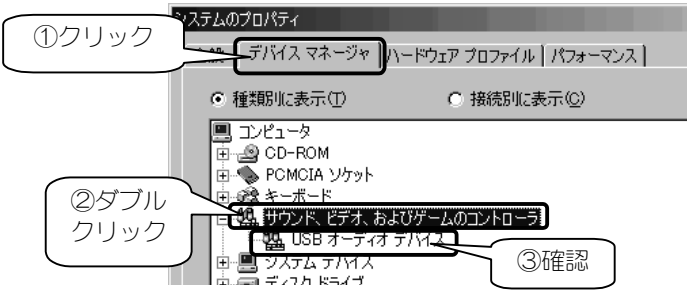


これでインストールは終了です。
引き続き、本製品が正しくインストールされたかどうか確認します。

インストール終了後の確認

1 [マイコンピュータ]アイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックします。

2 [デバイスマネージャ]タブをクリックします。
[サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ]をダブルクリックし、[USBオーディオデバイス]が表示されることを確認します。



これでインストールが正常に行われたことが確認できました。

Windows 98にインストール

1 Windows 98を起動します。

2 パソコンのUSBポートと本製品のUSBコネクタを接続します。

Windows 98が完全に起動した状態で接続します。

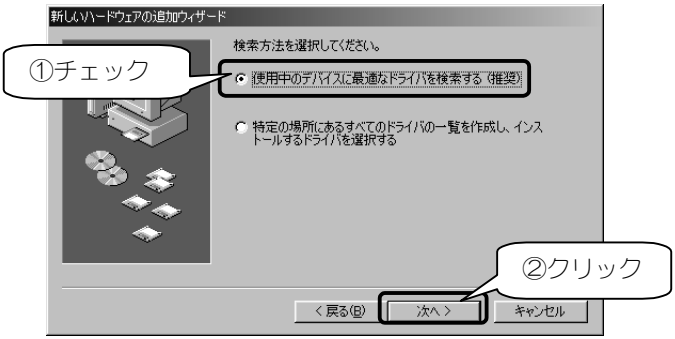
注意

・パソコンの USB ポートの位置は、パソコンの取扱説明書を参照してください。
・USB コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。

3 しばらくすると以下の画面が表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。

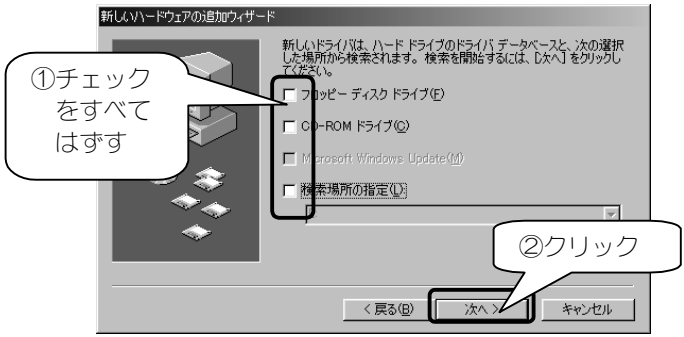


4 [使用中のデバイスに最適な・・・]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。

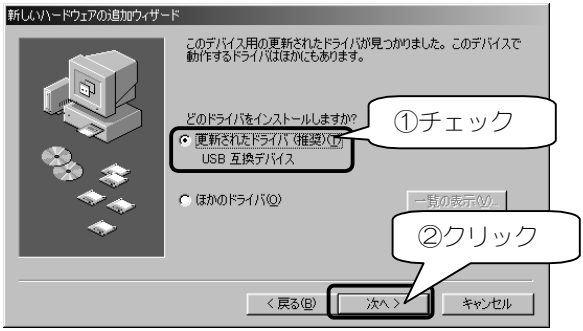


5 [次へ]ボタンをクリックします。

チェックがついていたらすべてはずします。
そのまま、[次へ]ボタンをクリックしてください。



6 以下の画面が表示された場合は、[更新されたドライバ(推奨)]がチェックされていることを確認後、[次へ]ボタンをクリックします。



7 [次へ]ボタンをクリックします。



8 [完了]ボタンをクリックします。



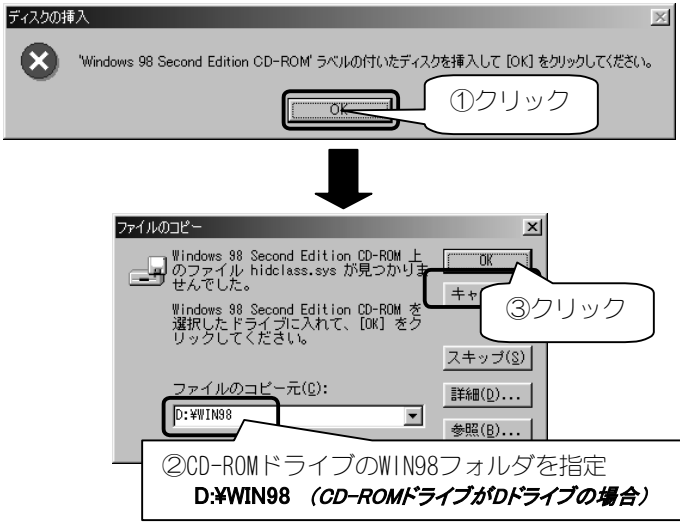
9 しばらくすると以下の画面*(「USBヒューマンインターフェイスデバイス」のインストール画面)*が表示されます。
再度、**3**～**8**の手順と同様に行います。



参考

手順 *6* での[次へ]ボタンをクリック後、以下のように Windows 98 CD-ROM を要求してくる場合があります。
以下の手順を行います。

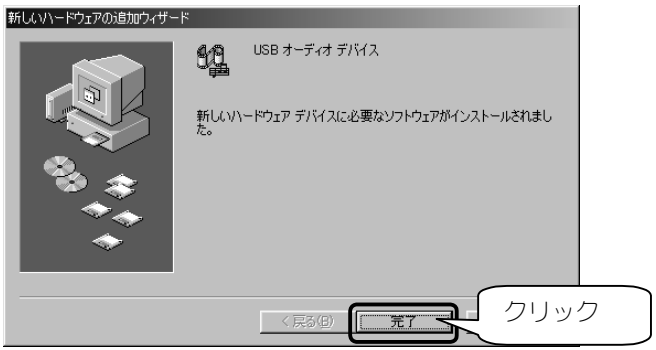
1.Windows 98 CD-ROM をセットします。
2.CD-ROM ドライブの Win98 フォルダを指定後、[OK]ボタンをクリックします。



10 以下の画面*(「USBオーディオデバイス」のインストール画面)*が表示されます。
再度、**3**～**8**の手順と同様に行います。



11 以下の画面*(「USBオーディオデバイス」のインストール完了画面)*で[完了]ボタンをクリックします。

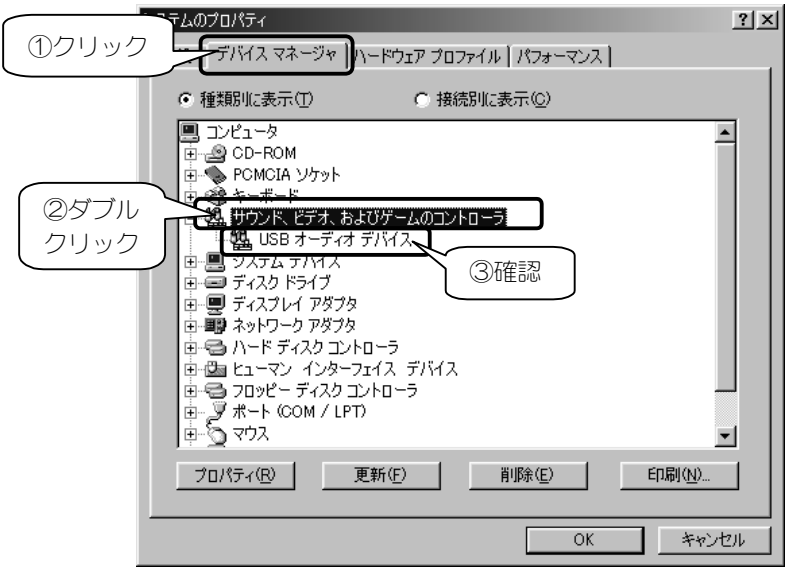


これでインストールは終了です。
引き続き、本製品が正しくインストールされたかどうか確認します。

インストール終了後の確認

1 [マイコンピュータ]アイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックします。

2 [デバイスマネージャ]タブをクリックします。
[サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ]をダブルクリックし、[USBオーディオデバイス]が表示されることを確認します。



これでインストールが正常に行われたことが確認できました。

Macintoshにインストール

1 Macintoshを起動します。

2 パソコンのUSBポートと本製品のUSBコネクタを接続します。

Macintoshが完全に起動した状態で接続します。

注意

・パソコンの USB ポートの位置は、パソコンの取扱説明書を参照してください。
・USB コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。

この後 自動的にインストールされ、インストールは終了です。
引き続き、本製品が正しくインストールされたかどうか確認します。

注意

Macintosh で使用する場合、パソコンが起動した後に本製品を接続してください。

インストール終了後の確認

Mac OS 10.1.5/10.2 をお使いの場合は次ページをご覧ください。

Mac OS 9.0.4/9.1/9.2.2 をお使いの場合

1 アップルメニューをクリックし、[コントロールパネル]→[サウンド]を順にクリックします。

2 [入力]タブをクリックし、[装置]欄で[外部入力]に「USBオーディオ」が表示されていることを確認します。

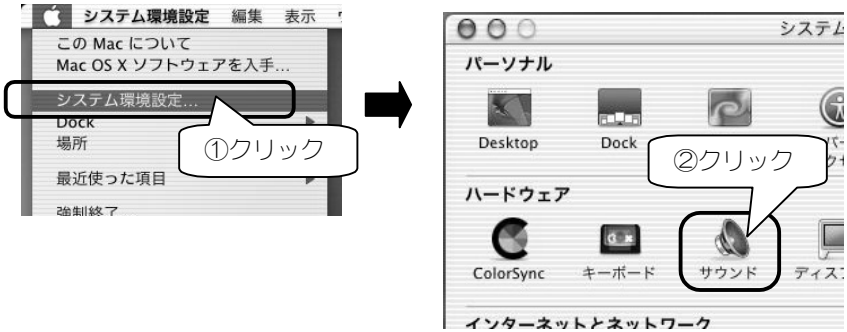


3 画面左上の をクリックして、画面を閉じます。

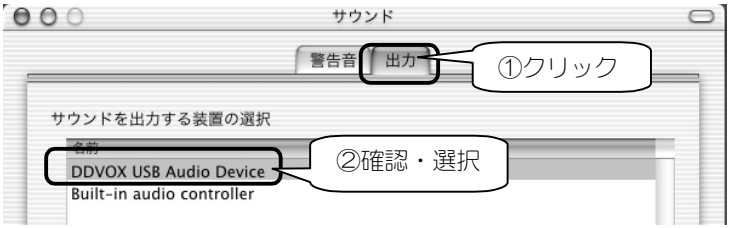
これでインストールが正常に行われたことが確認できました。

Mac OS 10.1.5/10.2 をお使いの場合

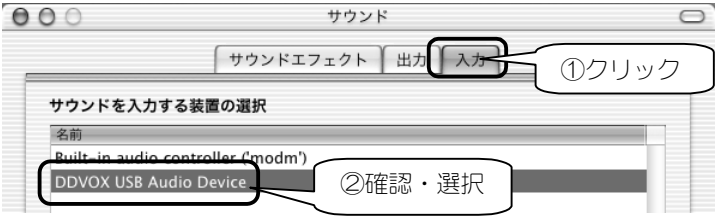
1 アップルメニュー→[システム環境設定...]→[サウンド]をクリックします。



2 [出力]タブをクリック後、[サウンドを出力する装置の選択]に[DDVOX USB Audio Device]が表示されていることを確認します。
[DDVOX USB Audio Device]が選択されていない場合は選択します。



3 Mac OS 10.2の場合のみ、[入力]タブをクリックし、[サウンドを入力する装置の選択]に[DDVOX USB Audio Device]が表示されていることを確認します。
[DDVOX USB Audio Device]が選択されていない場合は選択します。



4 画面左上の をクリックして、画面を閉じます。

これでインストールが正常に行われたことが確認できました。

3 使い方いろいろ

本製品には光デジタルケーブルおよび同軸デジタルケーブルを接続できるオーディオ機器が接続できます。
ここでは、接続例のほんの一部を紹介します。

CD-ROMドライブの確認 26ページ

本製品をお使いになる前に、CD-ROMドライブが「デジタル音声抽出」に対応しているかどうか確認します。

MDレコーダーに録音する ***(デジタル録音)*** 27ページ

パソコンで再生した音声をMDレコーダーにデジタル録音できます。

パソコンに録音する ***(デジタル録音)*** 28ページ

MD/DAT/CDプレーヤーなどのデジタル音声出力機能搭載機器からの出力をパソコンに取り込む（録音する）ことができます。

添付ソフトウェアについて 30ページ

本製品に添付されているソフトウェアについて説明します。

注意

スピーカーや MD レコーダー等、本製品への接続機器の取り扱い(本製品との接続個所など)については、接続機器に添付の取扱説明書をご覧ください。

参照

本製品は、パソコン起動中でも USB ポートからの抜き差しが可能です※。必要なときだけ接続し、それ以外は、別の USB 機器を使うといったこともできます。
※ 再生中および録音中は本製品の抜き差しは行わないでください。

CD-ROMドライブの確認

本製品で音楽 CD の再生を行う場合、「デジタル音声抽出」に対応した CD-ROM ドライブが必要です。以下の方法で対応しているかどうか確認してください。

※Macintosh でお使いの場合は、この確認は不要です。

●Windows XPの場合

[スタート]→[コントロールパネル]→[サウンド、音声、およびオーディオデバイス]→[サウンドとオーディオデバイス]をクリック→[ハードウェア]タブをクリックし、お使いのCD-ROMドライブをクリックし、[プロパティ]をクリックします。

[プロパティ]タブをクリックし、[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]があるか確認します。

ある場合はチェックします。

●Windows 2000の場合：

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[サウンドとマルチメディア]をクリック→[ハードウェア]タブをクリックし、お使いのCD-ROMドライブをクリックし、 [プロパティ]をクリックします。

[プロパティ]タブをクリックし、[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]があるか確認します。

ある場合はチェックします。

●Windows Meの場合

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]をクリック→[デバイスマネージャ]タブ内の[CD-ROM]をダブルクリックして下に表示されるデバイスをダブルクリックします。

[プロパティ]タブをクリックし、[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]があるか確認します。

ある場合はチェックします。

●Windows 98の場合

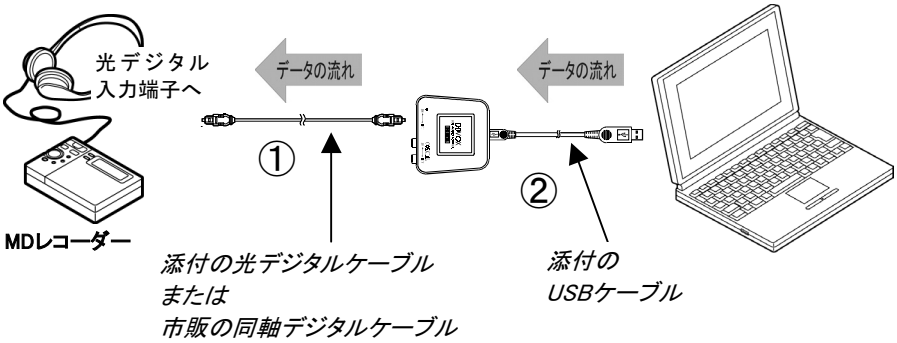
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[マルチメディア]をクリックします。

[音楽CD]タブをクリックし、[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする] があるか確認します。

ある場合はチェックします。

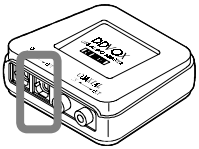
MDレコーダーに録音する *(デジタル録音)*

パソコンで再生した音声をMDレコーダーにデジタルで録音します。
下記のように接続します。MDレコーダーは、録音待機状態にし、パソコン側で音声の再生をしてください。



① *光デジタルケーブル(添付品)で接続するとき*

本製品の「OPTICAL OUT」に光デジタルケーブルの端子を接続し、光デジタルケーブルのもう一方の端子をMDレコーダーの光デジタル入力端子に接続します。

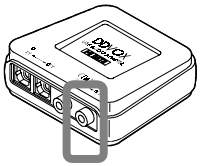


必要があれば、光デジタルケーブルの一方の端子に、添付の光端子変換プラグをご使用ください。



同軸デジタルケーブルで接続するとき

本製品の「COAXIAL OUT」に同軸デジタルケーブルの端子を接続し、同軸デジタルケーブルのもう一方の端子を同軸デジタル入力端子に接続します。



② 本製品のUSBコネクタとパソコンを添付のUSBケーブルで接続します。

③ パソコン側で音声を再生し、MDレコーダー側で録音します。

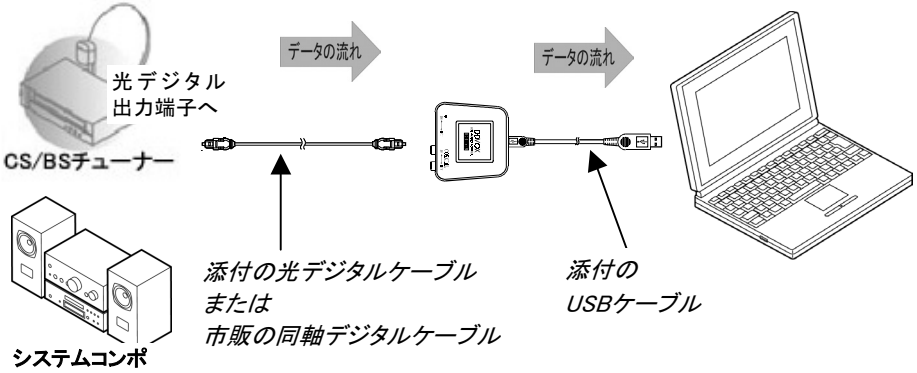
参考

光出力と同軸出力は同時に出力しています。

パソコンに録音する *（デジタル録音）*

デジタル音声出力搭載機器からの音をデジタルでパソコンに取り込む（録音する）ことができます。

下図はデジタル BS/CS チューナーやシステムコンポと接続するときの例です。



① *光デジタルケーブル（添付品）で接続するとき*

本製品の「OPTICAL IN」に光デジタルケーブルの端子を接続し、光デジタルケーブルのもう一方の端子をCS/BSチューナーなどの光デジタル出力端子に接続します。

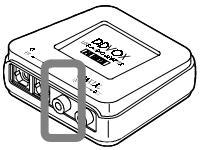


必要があれば、光デジタルケーブルの一方の端子に、添付の光端子変換プラグをご使用ください。



同軸デジタルケーブルで接続するとき

本製品の「COAXIAL IN」に同軸デジタルケーブルの端子を接続し、同軸デジタルケーブルのもう一方の端子をシステムコンポなどの同軸デジタル出力端子に接続します。



② 本製品のUSBコネクタとパソコンを添付のUSBケーブルで接続します。

③ 添付の「Sound it!」（またはお持ちのソフトウェア）で録音を行います。

注意

添付の「Sound it!」や他の録音ソフトを使って録音する際には、録音サンプリング周波数を、以下のように設定してください。

・DAT やデジタル BS/CS チューナーの場合 → 48kHz

・MD や CD の場合 → 44.1kHz

詳しくは「Sound it!」のヘルプやお使いの録音ソフトの取扱説明書をご覧ください。

参考

光入力と同軸入力を同時に接続している場合、光入力の音声を優先して取り込み（録音）します。

添付ソフトウェアについて

本製品をより効果的にお使いいただくために、Windows 版および Mac OS 版の波形編集ソフト「Sound it!」を添付しております。「Sound it!」については、次章を参照してください。

「Sound it!」についてのお問い合わせは
70ページ【サービス品に関するお問い合わせ】を参照してください。

4 「Sound it!」を使ってみる

この章では、添付の「Sound it!」について説明します。



「Sound it!」について　32ページ

「Sound it!」について説明します。



Windows版「Sound it!」を使ってみる　33ページ

Windows版の「Sound it! 3.0 LE for Windows」をお使いになる場合は、このページをお読みください。



Mac OS版「Sound it!」を使ってみる　45ページ

Mac OS版の「Sound it! 3.0 for Macintosh」をお使いになる場合は、このページをお読みください。

「Sound it!」について

「Sound it!」とは？

「Sound it!」はパソコンに搭載されているサウンドカード（またはサウンド機能）によりデジタル変換された音声信号を、ハードディスクに録音したり、録音された音声信号に、デジタル信号処理によるさまざまな編集、加工、エフェクト処理を行うことができるソフトウェアです。

また、音楽 CD から抽出したデータやオリジナルのサウンドをオーディオ CD フォーマットで、CD に書き込み※（ディスクアットワンスに対応）することができます。

※ 本製品添付の「Sound it! 3.0 LE for Windows」では CD に書き込むことはできません。（以下の【注意】参照）
ただし、添付の Macintosh 版「Sound it! 3.0 for Macintosh」では CD に書き込み可能（Mac OS 10.2 のみ）です。

「Sound it！」を使って

・ホームページ、ビデオクリップ、コマーシャルなどの BGM、ジングル、SE の作成
・ナレーションの編集
・VJ タイトルのサウンド作成
・パソコンのオリジナル起動音、警告音などの作成
・e-mail を使ったボイスメール作成

など、さまざまなサウンドの録音、編集、加工、エフェクト処理などがパソコン上で実現できます。

特長

・非破壊編集方式のため、Sound it!でどのような編集を行っても元の WAVE ファイルに影響を与えません。
・MIDI ソングファイルをウェーブデータに変換します。
（Windows をお使いの場合は Roland VSC 3.2、Mac OS をお使いの場合は Roland VSC 3.0 が別途必要）
・Sound it!の機能、操作が一目でわかるマルチメディアテキスト「Sound it! Lesson」（html 形式）を付属（Sound it!インストール時に同時にインストールできます）しています。



本製品に添付の「Sound it! 3.0 LE for Windows」では、パッケージ版「Sound it! 3.0 for Windows」に搭載されている CD 作成/CD リッピング機能には対応しておりません。
製品版へのアップグレードその他に関しては、PDF ファイルを参照してください。

Windows版「Sound it!」を使ってみる

「Sound it!」を使えば、パソコン上から、音声の出力だけでなく外部オーディオ機器から音声をパソコンへデータとして取り込むことができます。

Mac OS をお使いの場合　→ 45 ページを参照してください。

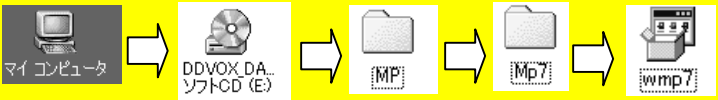
「Sound it!」の動作環境

「Sound it!」の動作環境については、5 ページ【添付ソフトの動作環境】または、添付の「DDVOX/DAVOX ソフトウェア CD-ROM」内の PDF ファイルを参照してください。

注意

Windows 2000/98 で WMA ファイルの読み込み、保存を行う場合には、Windows Media Player7 が必要です。
以下のフォルダの wmp7.exe を実行して、インストールを行ってください。

[マイコンピュータ]→CD-ROM アイコン *([DDVOX_DAVOX ソフト CD])*内の [MP]→[MP7]→[wmp7]

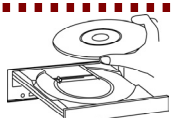


「Sound it!」をインストールする

1 パソコン(Windows)を起動します。

Windows XPの場合、コンピュータの管理者のアカウントでログオンしてください。
Windows 2000の場合、Administrator権限でログオンしてください。

2 添付の「DDVOX/DAVOXソフトウェアCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットします。

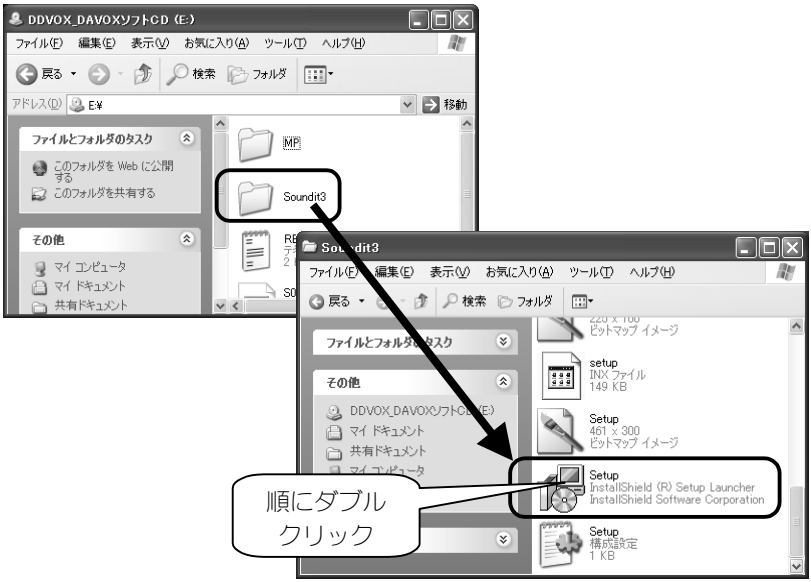


添付のCD-ROM

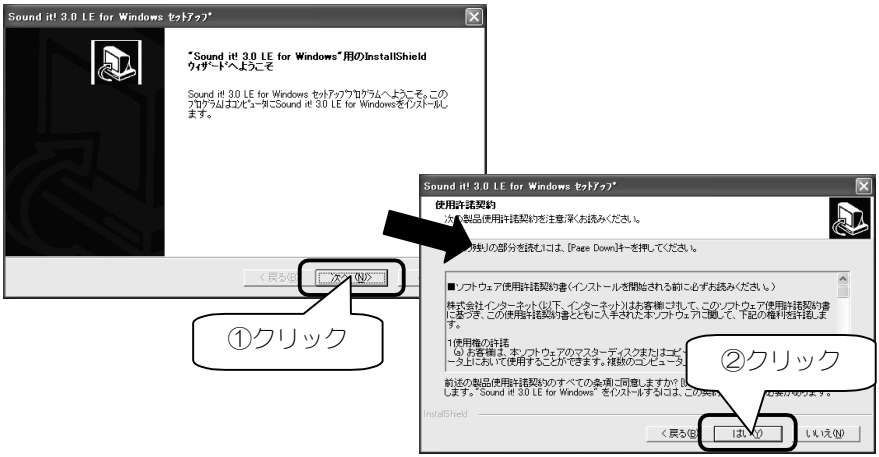
3 CD-ROMをセット後、お使いの環境によっては、以下の画面が表示されます。
[フォルダを開いてファイルを…]をクリック後、[OK]ボタンをクリックします。



4 [マイコンピュータ] *(Windows XPでは[スタート]→[マイコンピュータ])*→CD-ROMアイコン *([DDVOX_DAVOXソフトCD])*内の[Soundit3]→[Setup]アイコンを順にダブルクリックします。



5 画面の指示に従ってインストールします。



Windows版「Sound it!」を使ってみる

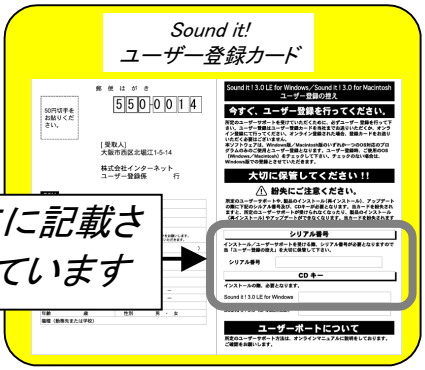


名前を入力

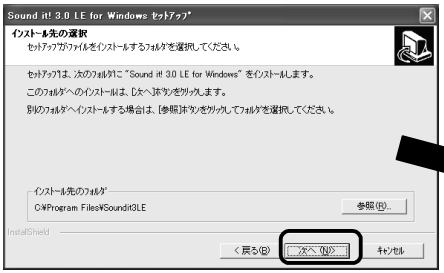
会社名を入力

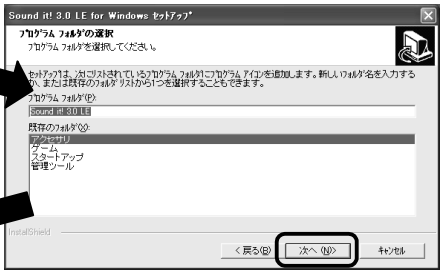
添付の「Sound it!ユーザー登録カード」に記載されている*[シリアル番号]*を入力

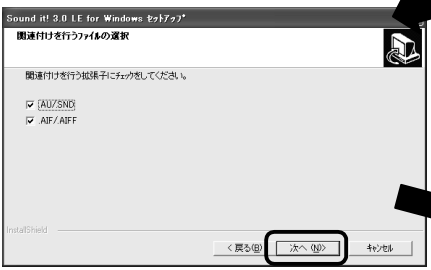
添付の「Sound it!ユーザー登録カード」に記載されている*[CDキー]*を入力

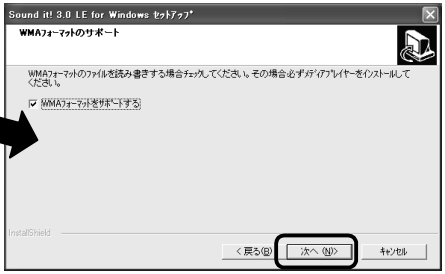


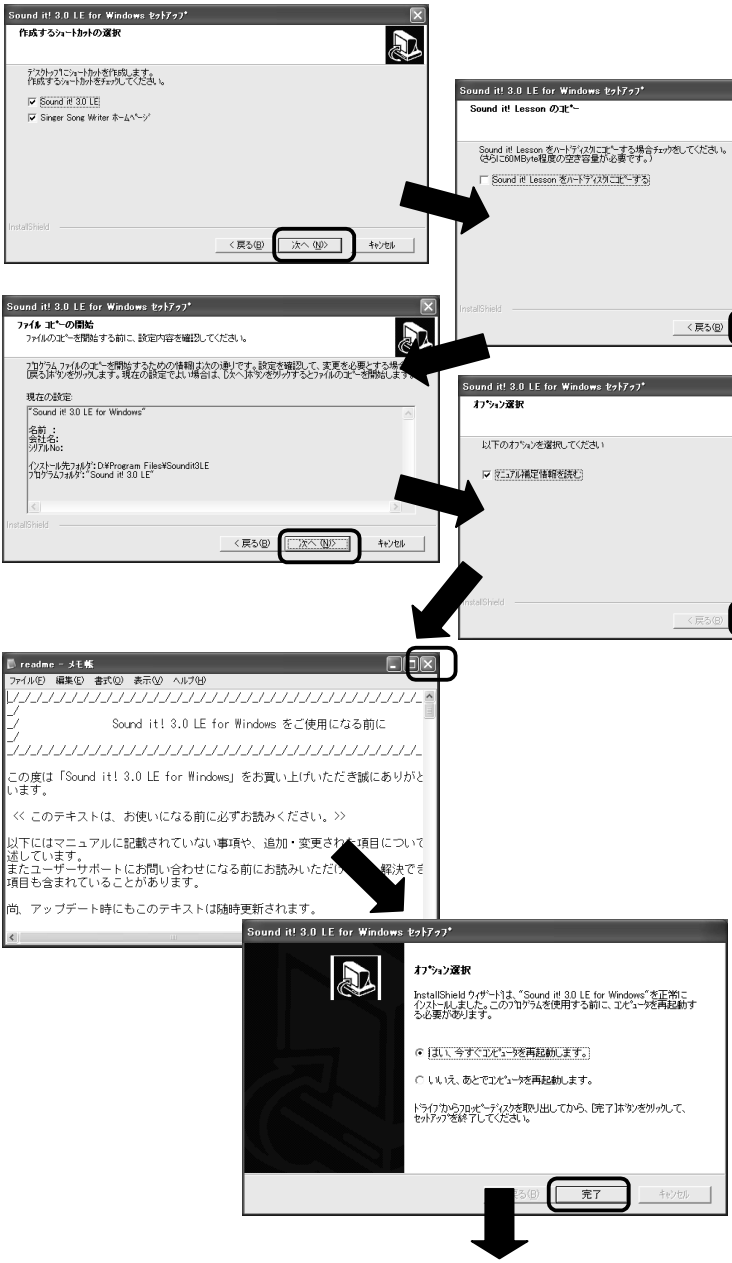
ここに記載されています











パソコンを一度再起動します。

「Sound it!」を起動する

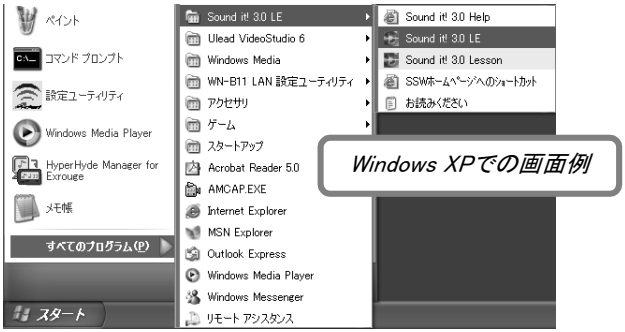
1 「Sound it！」を起動します。
デスクトップ上の[Sound it! 3.0 LE]アイコンを
ダブルクリックします。



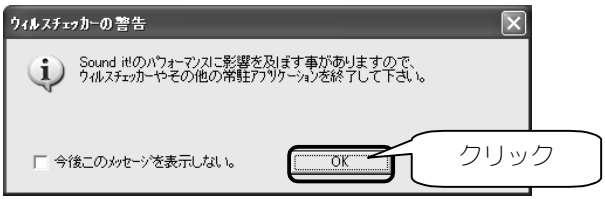
参考

もう1つの起動方法

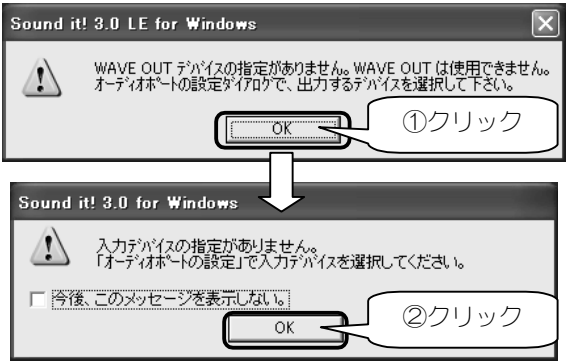
「Sound it!」は[スタート]メニューからでも起動できます。
[スタート]→[プログラム](Windows XP では[すべてのプログラム])→[Sound it! 3.0 LE]→[Sound it! 3.0 LE]を順にクリックすれば起動できます。



2 はじめて起動した場合は、以下の画面および次ページ*3～4* の手順の画面が表示されます。
[OK]ボタンをクリックします。



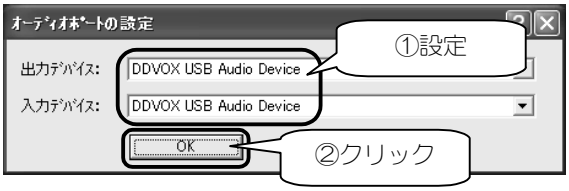
3 順に[OK]ボタンをクリックします。



4 以下の画面では以下のように設定し、[OK]ボタンをクリックします。

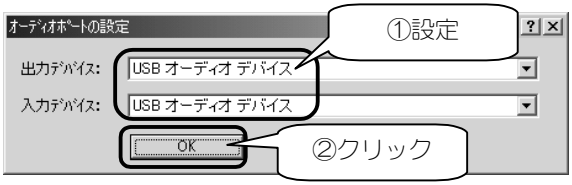
・Windows XPの場合

[出力デバイス]: DDVOX USB Audio Device
[入力デバイス]: DDVOX USB Audio Device



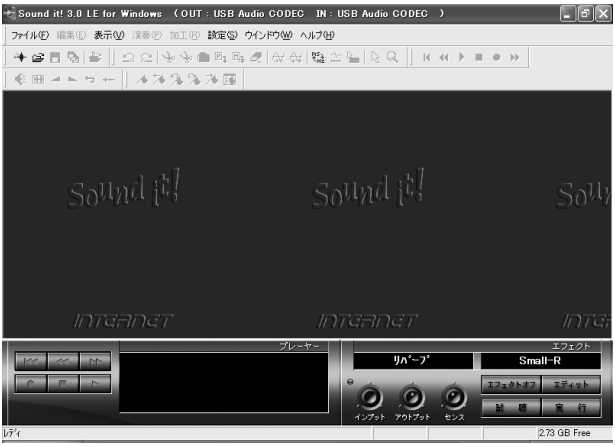
・Windows 2000/Me/98の場合

[出力デバイス]: USBオーディオデバイス
[入力デバイス]: USBオーディオデバイス



5 [Sound it!]の画面が表示されます。
この画面から各種操作を行います。

※次回から手順1の[Sound it! 3.0 LE]をダブルクリックすれば、以下の画面が表示されます。



「Sound it!」を使ってみる

ここでは、「Sound it!」を使って音声を取り込む例について説明します。

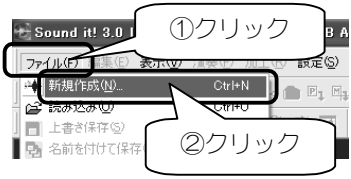
●使用例：「Sound it!」を使ってパソコンに音声を取り込む

「Sound it!」を使って音声を取り込んでみましょう。

1 最初に新規作成を行います。
「Sound it!」画面の [新規作成]ボタンをクリックします。
（[ファイル]メニューの[新規作成]をクリックしても新規作成できます。）



または



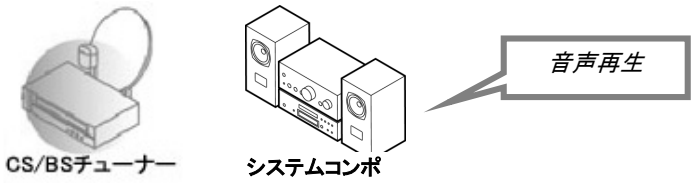
2 以下の画面が表示されます。必要に応じて設定してください。
※必ず接続している機器のサンプリングレートと同じにしてください。
設定後、[OK]ボタンをクリックします。



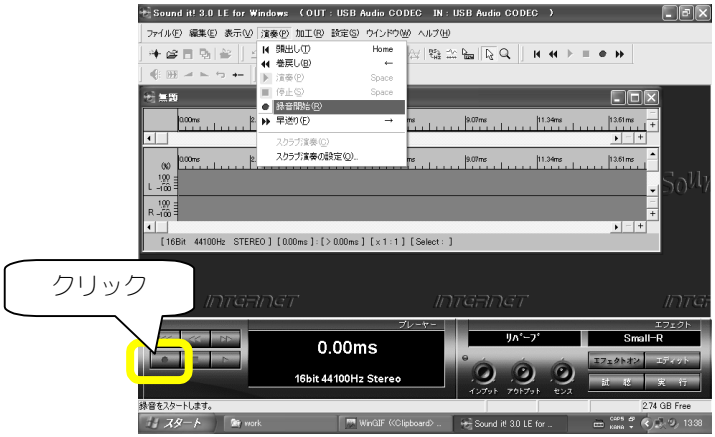
画面は音楽CD/MD用の設定例です。BS/CSの場合は、サンプリングレートを48000Hzにします。

ビット・レゾリューション	本製品は[16Bit]のみ対応です。
チャンネル	[MONO]（モノラル）、[STEREO]（ステレオ）のどちらでも選択できます。
サンプリングレート	接続している機器のサンプリングレートを選択します。 例） 音楽 CD/MD の場合 → 44100Hz BS/CS の場合 → 48000Hz

3 本製品に接続している機器の音声を再生します。
※接続をご確認ください。(28ページ参照)

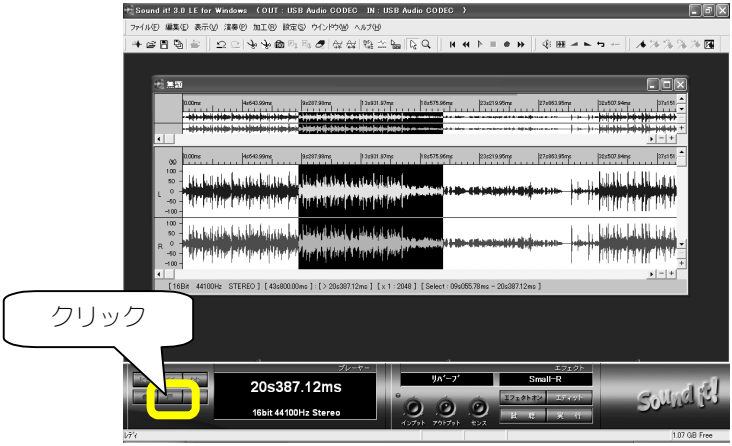


4 音声を取り込み(録音)ます。
「Sound it!」画面の  [録音開始]ボタンをクリックします。
([演奏]メニューの[録音開始]をクリックしても録音できます。)
⇒録音が開始されます。



5 取り込み(録音)を終了したいところで「Sound it!」画面の[停止]ボタンをクリックします。
([演奏]メニューの[停止]をクリックしても停止できます。)

⇒録音が終了し、画面上に取り込まれた音声が表示されます。



6 [ファイル]メニューの[名前を付けて保存]で音声をファイルに保存できます。

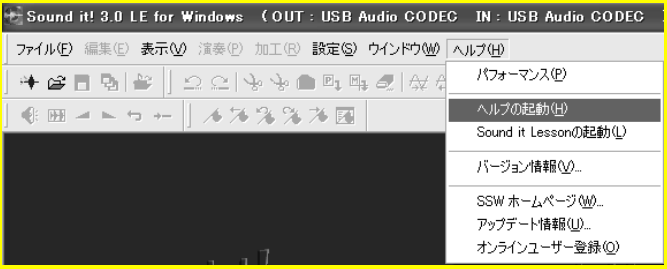


注意

「Sound it!」の使用方法、その他に関しては弊社ではサポートいたしかねます。

使用方法に関しての詳細は、「Sound it!」のヘルプ、「Sound it! Lesson」を参照してください。また、「Sound it!」のマニュアルが、CD-ROM 内に PDF 形式で収録されています。

また、お問い合わせに関しては【サービス品に関するお問い合わせ】(70 ページ)を参照してください。



Mac OS版「Sound it!」を使ってみる

「Sound it!」を使えば、パソコン上から、音声の出力だけでなく外部オーディオ機器から音声をパソコンへデータとして取り込むことができます。

Windows をお使いの場合　→ 33 ページを参照してください。

「Sound it!」の動作環境

「Sound it!」の動作環境については、6 ページまたは、添付の「DDVOX/DAVOX ソフトウェア CD-ROM」内の PDF ファイルを参照してください。

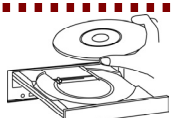


Mac OS 10.2 をお使いの場合
次ページの【「Sound it!」をインストールする】を行った後、㈱インターネット社のホームページ　http://www.ssw.co.jp/ より、最新アップデートプログラムをダウンロードしてアップデートを行ってください。

「Sound it!」をインストールする

1 パソコン(Mac OS)を起動します。

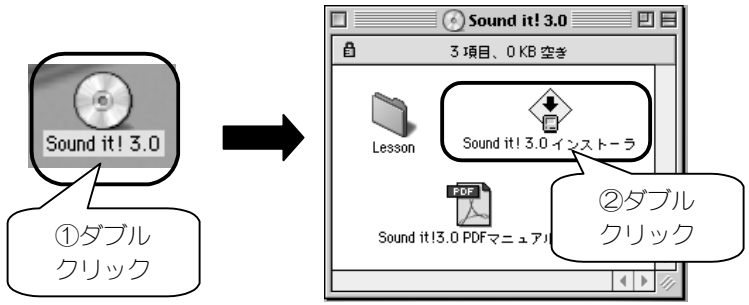
2 添付の「DDVOX/DAVOXソフトウェアCD-ROM」を
CD-ROMドライブにセットします。



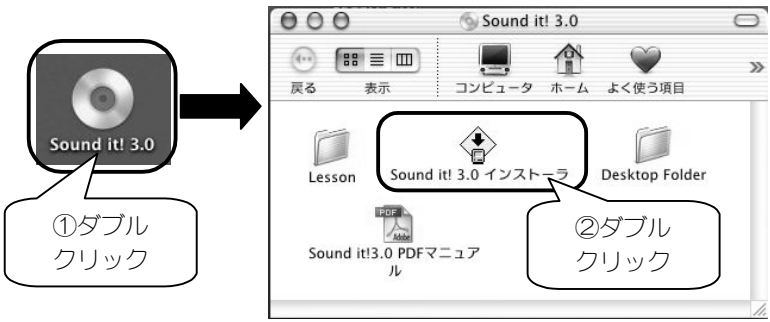
添付のCD-ROM

3 CD-ROMアイコン([Sound it! 3.0])内をダブルクリック後、
[Sound it! 3.0 インストーラ]アイコンをダブルクリックします。

・Mac OS 9.0.4/9.1/9.2.2の場合



・Mac OS 10.1.5/10.2の場合



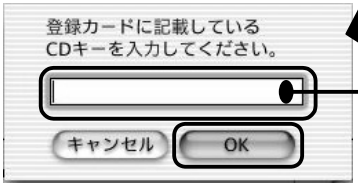
参考

お使いのパソコンによっては、CD-ROM をセット後、すぐに右の画面が表示される場合があります。

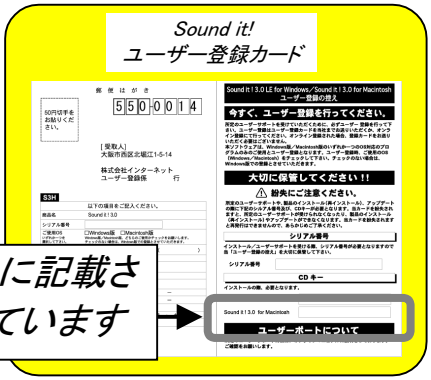
4 画面の指示に従ってインストールします。

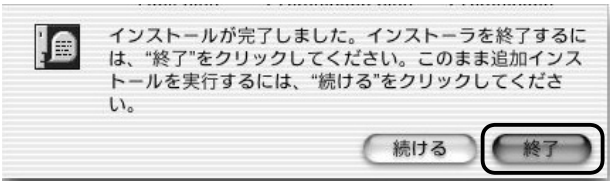






添付の「Sound it!ユーザー登録カード」に記載されている［CDキー］を入力





注意

Mac OS 10.2 をお使いの場合

インストール後、㈱インターネット社のホームページ

http://www.ssw.co.jp/

より、最新アップデートプログラムをダウンロードしてアップデートを行ってください。

「Sound it!」を起動する

1 「Sound it！」を起動します。

・*Mac OS 9.0.4/9.1/9.2.2の場合*

[Macintosh HD]→[Sound it! 3.0]→[Sound it! 3.0]アイコンを順にダブルクリックします。

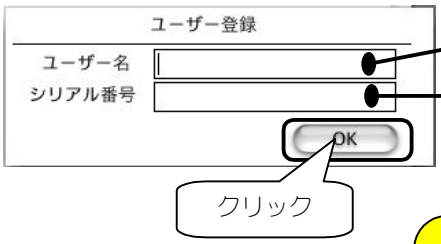


・*Mac OS 10.1.5/10.2の場合*

[Macintosh HD]→[アプリケーション]*(または[Application])*→
[Sound it! 3.0]→[Sound it! 3.0]アイコンを順にダブルクリックします。

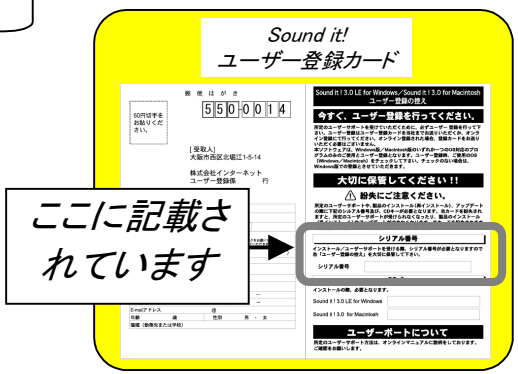


2 はじめて起動した場合は、以下の画面および*3～5* の手順の画面が表示されます。
以下の画面では、[ユーザー名][シリアル番号]を入力後、[OK]ボタンをクリックします。

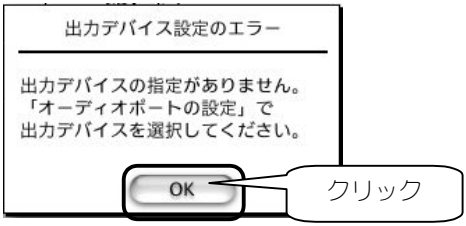


名前を入力

添付の「Sound it!ユーザー登録カード」に記載されている *[シリアル番号]*を入力



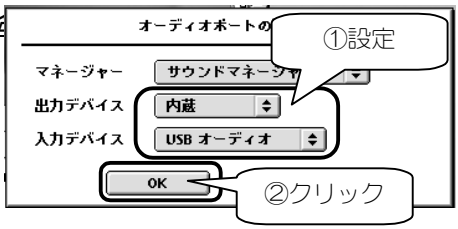
3 [OK]ボタンをクリックします。



4 以下の画面では、以下のように設定し、[OK]ボタンをクリックします。

・Mac OS 9.0.4/9.1/9.2.2の場合

[出力デバイス]:
内蔵
[入力デバイス]:
USBオーディオ



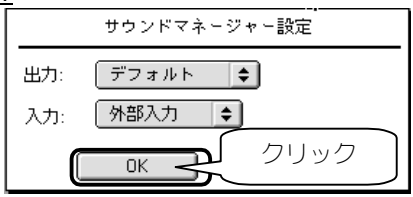
・Mac OS 10.1.5/10.2の場合

[出力デバイス]:
Mac OS X Audio HAL
（または[DDVOX USB Audio Device]）
[入力デバイス]:
DDVOX USB Audio Device



5 [OK]ボタンをクリックします。

・Mac OS 9.0.4/9.1/9.2.2の場合



・Mac OS 10.1.5/10.2の場合



6 [Sound it!]の画面が表示されます。

この画面から各種操作を行います。

※次回から手順1の[Sound it! 3.0]をダブルクリックすれば、以下の画面が表示されます。

・Mac OS 9.0.4/9.1/9.2.2の場合



・Mac OS 10.1.5/10.2の場合



「Sound it!」を使ってみる

ここでは、「Sound it!」を使って音声を取り込む例について説明します。

●使用例：「Sound it!」を使ってパソコンに音声を取り込む

「Sound it!」を使って音声を取り込んでみましょう。

1 最初に新規作成を行います。
「Sound it!」画面の [新規作成]ボタンをクリックします。
([ファイル]メニューの[新規作成]をクリックしても新規作成できます。)



2 以下の画面が表示されます。必要に応じて設定してください。
※必ず接続している機器のサンプリングレートと同じにしてください。
設定後、[OK]ボタンをクリックします。

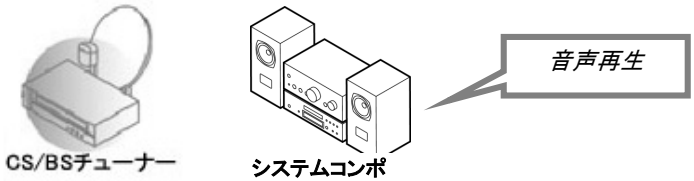


ビット・レゾリューション	本製品は[16Bit]のみ対応です。
チャンネル	[MONO](モノラル)、[STEREO](ステレオ)のどちらでも選択できます。
サンプリングレート	接続している機器のサンプリングレートを選択します。 例) 音楽 CD/MD の場合 → 44100Hz BS/CS の場合 → 48000Hz

注意

Mac OS 10.1.5 での録音は、サンプリングレート 44100Hz、48000Hz のみ対応です。

3 本製品に接続している機器の音声を再生します。



4 音声を取り込み(録音)ます。

「Sound it!」画面の  [録音開始]ボタンをクリックします。
([演奏]メニューの[録音開始]をクリックしても録音できます。)

⇒録音が開始されます。

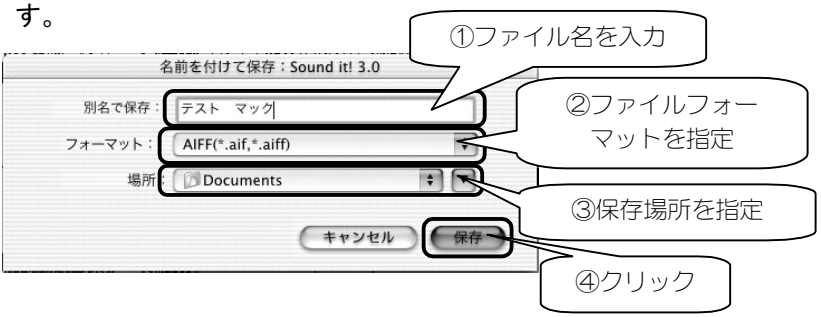


5 取り込み（録音）を終了したいところで「Sound it!」画面の[停止]ボタンをクリックします。
（[演奏]メニューの[停止]をクリックしても停止できます。）

⇒録音が終了し、画面上に取り込まれた音声が表示されます。



6 [ファイル]メニューの[名前を付けて保存]で音声をファイルに保存できます。



注意

「Sound it!」の使用方法、その他に関しては弊社ではサポートいたしかねます。

使用方法に関しての詳細は、「Sound it!」のヘルプ、「Sound it! Lesson」を参照してください。また、「Sound it!」のマニュアルが、CD-ROM 内に PDF 形式で収録されています。

また、お問い合わせに関しては【サービス品に関するお問い合わせ】（70 ページ）を参照してください。

MEMO

5 付録



困ったときには 56ページ

ここには問題の現象とその対処方法が書かれています。問題の大半はすぐに解決できることです。ぜひお試しください。



仕様 65ページ

本製品の基本仕様を説明します。



用語解説 66ページ

本製品に関する基本的な用語を簡単に説明します。

困ったときには

本製品を使用していてトラブルがあったときにご覧ください。

弊社ホームページをご覧ください

サポートWebページ内には、過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考にしてください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q&A
Newsその他

状態	参照ページ
ステレオ機器などに録音されない	57
MIDIが再生できない（Windowsのみ）	
認識がうまくいかず不明なデバイスになってしまう（Windowsのみ）	
パソコンが起動しない、または省電力モードから復帰できない	
本製品から音声が出力されない	58
本製品に入力した音声が録音できない	60
Mac OS 10.2で録音ができない	63
Mac OS 10.1.5で録音を開始するとエラーが出て録音できない	
Mac OS 10.1.5で警告音が鳴らない	
Mac OS 9.0.4でSound it!を起動するとエラーが出て起動できない	64
Mac OS 9.0.4で録音した音が音飛びする	
Mac OS 9で録音した音がおかしい	

ステレオ機器などに録音されない

対処1 ステレオ機器などは録音待機状態になっていますか？

ステレオ機器などでの録音方法等については、機器の取扱説明書をご覧ください。

対処2 本製品から音声が出力されていますか？

次ページ「本製品から音声が出力されない」の対処方法を参照してください。

MIDIが再生できない *(Windowsのみ)*

対処 本製品を接続したままWindowsを再起動してみてください。

Windows起動中に本製品をパソコンから外し、その状態でパソコン内蔵のサウンドボードを使ってMIDIの再生をした場合、本製品を接続しなおしても本製品から音の出力がされない場合があります。このような場合は、本製品をパソコンに接続したままWindowsを再起動してみてください。

認識がうまくいかず不明なデバイスになってしまう *(Windowsのみ)*

対処 一度、本製品をUSBポートから抜き挿ししてみてください。

本製品を接続した状態で、パソコンを起動した場合、認識が正常に行われない場合があります。

パソコンが起動しない、または省電力モードから復帰できない

対処 以下の方法でもう1度接続してください。

本製品を接続した状態でパソコンが起動しなかったり、省電力モードから復帰できない場合は、いったんパソコンの電源を切り、本製品をUSBポートから抜いてください。その後、再びパソコンの電源を入れ、パソコンが完全に起動したことを確認後、本製品を接続してください。

本製品から音声が出力されない

対処 パソコンの設定で、本製品が選択されていない

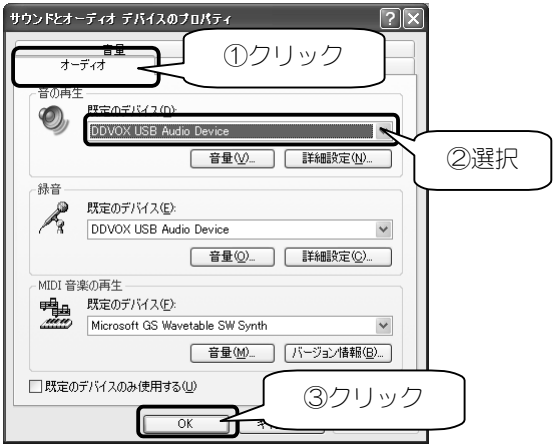
パソコン側で本製品を選択してください。設定方法はお使いのOSのページをお読みください。

・Windows XPの場合→以下の手順
・Windows 2000/Me/98の場合→次ページ
・Mac OSの場合→次ページ

Windows XPの場合

1 [スタート]→[コントロールパネル]→[サウンド、音声およびオーディオデバイス]→[サウンドとオーディオデバイス]を順にクリックします。

2 [オーディオ]タブをクリックし、[音の再生]欄の[既定のデバイス]で[DDVOX USB Audio Device]を選択して、[OK]ボタンをクリックします。



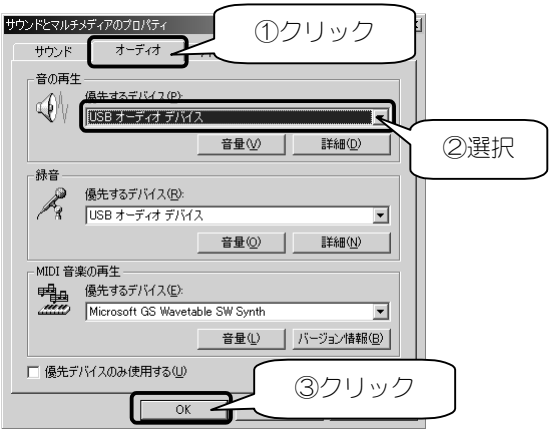
これで、正常な状態で本製品をお使いいただけます。

Windows 2000/Me/98の場合

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[サウンドとマルチメディア]（Windows 98の場合は[マルチメディア]）を順にクリックします。

2 [オーディオ]タブをクリックし、[音の再生]※欄の[優先するデバイス]で[USBオーディオデバイス]を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

※Windows Me/98の場合は「再生」



これで、正常な状態で本製品をお使いいただけます。

Mac OSの場合

22ページ【インストール終了後の確認】で正常に表示されているかご確認ください。

本製品に入力した音声が録音できない

対処 パソコンの設定で、本製品が選択されていない

パソコン側で本製品を選択してください。設定方法はお使いのOSのページをお読みください。

- Windows XPの場合→次ページ
- Windows 2000/Me/98の場合→62ページ
- Mac OSの場合→62ページ

対処2 入力した音声がドルビーデジタル、DTSまたはSCMSで保護された音声ではありませんか？

これらの音声は録音することはできません。

対処3 デジタル入力端子から入力した音声のサンプリング周波数と、録音ソフトで設定したサンプリング周波数が合っていない

デジタルで入力した音声を録音するときは、サンプリング周波数を合わせる必要があります。入力しているサンプリング周波数は出力している機器の取扱説明書をご覧ください。

参考

サンプリング周波数について

音楽 CD/MD の場合 → 44100Hz

BS/CS の場合 → 48000Hz

Windows XPの場合

1 [スタート]→[コントロールパネル]→[サウンド、音声およびオーディオデバイス]→[サウンドとオーディオデバイス]を順にクリックします。

2 [オーディオ]タブをクリックし、[録音]欄の[既定のデバイス]で[DDVOX USB Audio Device] を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

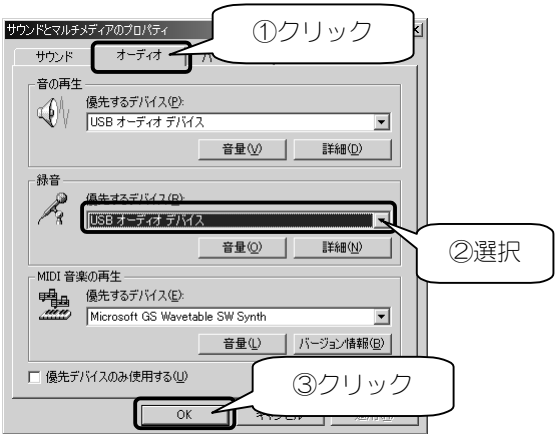


これで、正常な状態で本製品をお使いいただけます。

Windows 2000/Me/98の場合

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[サウンドとマルチメディア]*（Windows 98の場合は[マルチメディア]）*を順にクリックします。

2 [オーディオ]タブをクリックし、[録音]欄の[優先するデバイス]で[USBオーディオデバイス]を選択して、[OK]ボタンをクリックします。



これで、正常な状態で本製品をお使いいただけます。

Mac OSの場合

22ページ【インストール終了後の確認】で正常に表示されているかご確認ください。

Mac OS 10.2で録音ができない

対処 「Sound it! 3.0 for Macintosh」をアップデートしてください。

「Sound it! 3.0 for Macintosh」のアップデートプログラムを㈱インターネット社のホームページ*(http://www.ssw.co.jp/)*よりダウンロードしてアップデートしてください。
また、ファイルの新規作成時に入力したサンプリングレートをチェックしているため、新規作成後に本製品に音を入力した場合、録音できない場合があります。本製品に音を入力した状態で新規作成を行ってください。
録音ができない状態になった場合は、一度別のサンプリングレートで新規作成してから、目的のサンプリングレートのウィンドウに戻せば録音できるようになります。

Mac OS 10.1.5で録音を開始するとエラーが出て録音できない

対処 サンプリングレートを44100Hzまたは48000Hzにしてください。

本製品はMac OS 10.1.5では、32000Hzには対応しておりません。
32000Hzを指定して録音を開始すると、エラーが発生します。
必ず44100Hzまたは48000Hzを指定してください。

Mac OS 10.1.5で警告音が鳴らない

対処 アップルメニュー→[システム環境設定]→[サウンド]をクリックし、[警告音]タブで[警告音の再生元]に内蔵オーディオを選択してください。

Mac OS 10.1.5では、DDVOXからは警告音は鳴りません。

Mac OS 9.0.4でSound it!を起動するとエラーが出て起動できない

対処 最新のCarbonLibをアップル社のホームページよりダウンロードして、アップデートしてください。

Mac OS 9.0.4に標準で入っているCarbonLibではSound it!は使用できません。

Mac OS 9.0.4で録音した音が音飛びする

対処 マルチメディア・アップデート1.0をアップル社のホームページよりダウンロードしてアップデートしてください。

USBオーディオのドライバが古いと音飛びが発生します。
本製品でお使いになる場合は、ドライバのバージョンが1.0.5f4以上が必要です。古い場合はアップデートを行ってください。

＜USBオーディオのドライバのバージョン確認手順＞

［アップルメニュー］→［Appleシステム・プロフィール］で［デバイスとボリューム］タブをクリックします。
［オーディオ（DDVOX USB Audio Device）］をクリックすればドライバのバージョンが確認できます。

Mac OS 9で録音した音がおかしい

対処 仮想メモリの設定を「切」にしてください。

録音を開始したとき「メモリの残り容量が少なくなっています」と表示される場合は、録音がおかしくなるときがあります。このような場合はコントロールパネルのメモリで、仮想メモリを「切」にしてパソコンを再起動してください。

仕様

型番		DDVOX
インターフェイス		USB規格Rev..1.1 準拠
音声入出力端子		光デジタル出力端子（角型） X1 光デジタル入力端子（角型） X1 同軸デジタル出力端子（RCAジャック） X1 同軸デジタル入力端子（RCAジャック） X1
サンプリング周波数	入力	32kHz,44.1kHz,48kHz （Mac OS 10.1.5では32kHz未対応）
	出力	48kHz
量子化ビット		16ビット
使用温度範囲		+5℃～+35℃ （パソコンの動作する温度であること）
使用湿度範囲		20%～80% （結露しないこと。パソコンの動作する湿度であること）
電源電圧		DC +5V （USBポートから供給）
消費電流		最大 210mA
サイズ		73.5（D）× 75.0（W）×24.25（H）mm （ケーブル、光端子キャップを除く）
質量		約65.6g （ケーブル、光端子キャップを除く）

用語解説

AIFF形式（エーアイエフエフけいしき） *(Audio Interchange File format)*

Macintosh で標準的に使用されるファイル形式で、拡張子は“aif”または“aiff”です。
AIFF ファイルには、非圧縮 PCM のほか、AIFC という圧縮機能があります。

MP3（エムピースリー） *(MPEG1 Audio Layer3)*

CD 並みの音質を維持しながら、ファイルサイズを 1/10 程度に圧縮できるため、インターネットや MP3 小型ポータブルプレーヤなどで広く利用されています。

PCM（ピーシーエム） *(Pulse Code Modulation)*

デジタル信号をまったく圧縮せずに記録しておく方式です。CD-Audio、また、DVD でもこの音声記録方式に対応しています。複数のサンプリングレートと量子化ビット（16、20、24bit）が規定され、高品質な再生が可能です。

SCMS（エスシーエムエス） *(Serial Copy Management System)*

DAT レコーダーや MD レコーダーなど民生用デジタル・オーディオ機器において、デジタル接続による二世代以降の録音を禁止し、製作者の著作権を保護する機能のことをいいます。

WAV形式（ウェーブけいしき） *(WAV format)*

Windows で標準的に使用されるファイル形式で、拡張子は“wav”です。
WAV ファイルには、非圧縮 PCM のほか、いくつかの圧縮形式があります。

WMA（ダブリューエムエー） *(Windows Media Audio)*

Microsoft 社が開発した高圧縮かつ高音質のストリーミングに適したファイル形式です。8～42kHz、8/16 ビット、および MONO/STEREO の任意の組み合わせを使用することができます。

お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで受け付けています。

① まず、弊社ホームページをご確認ください。

本書【困ったときには】で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsその他」もご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q&A
Newsその他

② それでも解決できない場合は…

住所：　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター
電話：　本社…076-260-3646　東京…03-3254-1036
※受付時間　9:30～19:00 月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX：　本社…076-260-3360　東京…03-3254-9055
インターネット：　http://www.iodata.jp/support/

・お知らせいただく事項について

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。

1. ご使用の弊社製品名
2. ご使用のパソコン本体の型番
3. ご使用のOSとソフトウェアのバージョン
4. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、
①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
②弊社サポートセンターへお問い合わせください。
（前ページ【お問い合わせ】をご覧ください）

明らかに故障の場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて
修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について
・保証期間中は、無料修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）
修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアルNO.、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・以下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,

ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は以下の送付先までお送りください。

※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理係　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。

※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

サービス品に関するお問い合わせ

サービス品（添付ソフト）に関しては、以下へお問い合わせください。



サービス品につき、弊社ではサポート致しておりません。

「Sound it!」に関するお問い合わせ

住所: 〒550-0014
大阪市西区北堀江1-5-14 四ツ橋YM ビル
株式会社インターネッ ト　ユーザーサポート係

E-Mail:techsupport@ssw.co.jp
ホームページにある「お問い合わせシート」の形式にてお送りください。
※お問い合わせシート:http://www.ssw.co.jp/support/inquiry1.txt
(注)メールを送る際には、文字化けなどのトラブルを避けるため本文は、必ず「テキスト(半角カナは不可)」のみで送信してください。

電話番号: 東京 03-3226-0208
大阪 06-6539-0621

FAX番号: 東京 03-3226-0184
大阪 06-6539-0622

受付時間:月～金曜日 11:00～13:00、14:00～17:00
(土・日・祝祭日・インターネット社休業日を除く)

今すぐ、ユーザー登録を行ってください。

「Sound it!」のオンラインユーザー登録は、「Sound it!」の「ヘルプ」メニューにある「オンラインユーザー登録」から行うことができます。
オンラインユーザー登録ができない場合は、必要事項をご記入の上、添付の「Sound it！ユーザー登録カード」をご返送ください。

DDVOX 取扱説明書
2002.09.30　113186-01
発　行　　株式会社アイ･オー･データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2002 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。